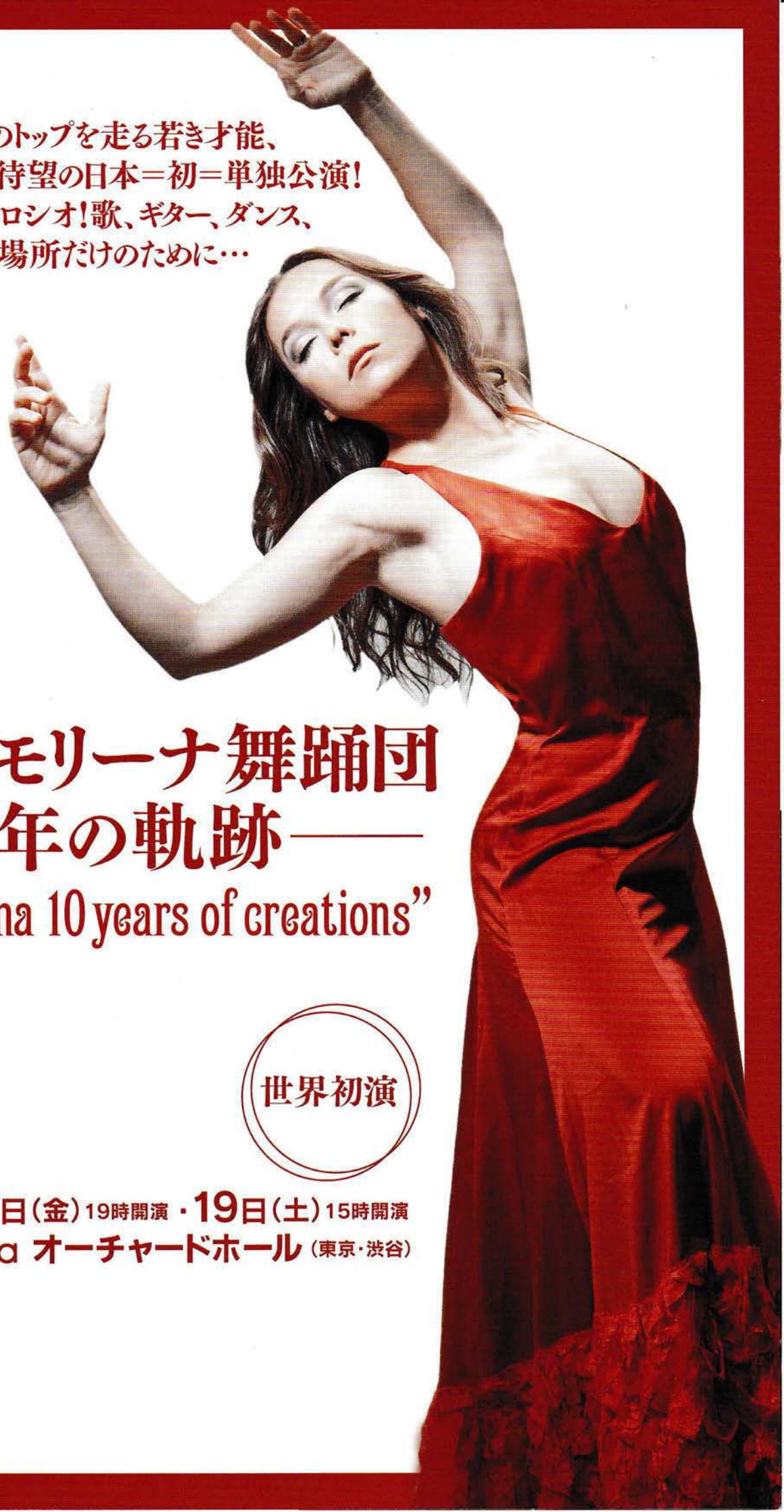


現代フラメンコ界のトップを走る若き才能、
ロシオ・モリーナが待望の日本=初=単独公演!
これぞベスト・オブ・ロシオ!歌、ギター、ダンス、
全てがこの日、この場所だけのために…

ロシオ・モリーナ舞踊団
——10年の軌跡——
“Rocío Molina 10 years of creations”

世界初演

2014年4月18日(金)19時開演・19日(土)15時開演
Bunkamura オーチャードホール (東京・渋谷)





ロシオ・モリーナは、今まで見たことのない素晴らしいバイラオーラの一人だ。しかし、まだそうとは言い切れない。まだ見たことのない人はたくさんいるし、(実際今年このニューヨークフラメンコフェスティバルにもたくさんいた)常にそれぞれの好みで、フラメンコを代表するアーティストが誰であると思うかは色んな意見があるだろうから。彼女の踊るソレアは観るものを最も純粋なフラメンコの神髄へと誘うと同時に何か新しい広がりを感じさせてくれた。

—アメリカ/ニューヨーク・タイムス



舞台の天井から砂が雨のようにロシオ・モリーナの身体に降り注ぎ、公演が幕をおろすと、ニューヨークシティーセンターを、大喝采とブラボーと言う声援が鳴り止むことなく包み込んだ。しかし、それ以上に感動的な出来事がこのバイラオーラに起こった。

楽屋に戻ると、そこにはミハイル・バリシニコフ、
**ダンス界の生きた伝説の一人である偉大な
舞踊家が、彼女の前で膝まづいたのだ。**

ロシオ・モリーナは戸惑い、驚いて、慌てて彼を立ち上がらせた。このバリシニコフの態度は、ニューヨーク市民がフラメンコを欲待したことを見事に象徴している。

—アメリカ/ABC

ロシオ・モリーナ — 初めて彼女の踊りを目にした時、若干19歳でありながら、まるでフラメンコ創世記の伝説のバイラオーラ(女性舞踊手)が降臨したかのような、その老練な動きと表情に驚かされた。あれから10年。20歳で初の自作品発表以来、立ち止まることなく作品毎に独自の世界を広げて来た。今までのフラメンコにはなかった動きや衣装、演出を取り入れるようになったロシオの舞台は“コンテンポラリー”と混同されることもある。だが、ロシオの踊りの奥底には、フラメンコの伝統、暗黙のルールが遵守されている。それがあつた限り彼女はフラメンコだ。

「ロシオ・モリーナ — 10年の軌跡 —」は「今までの私、そして今の私を知ってほしい」と、日本公演のために用意された特別な作品だ。過去10作品からのベストシーンを盛り込み、さらにオリジナルの新演出も加わる。かつて共演したアーティスト達もこの作品の為に集められ、史上最高のベストメンバーで臨む。日本の皆様へのロシオ・モリーナの現在・過去・未来が詰まったスペシャルプレゼント。最初に箱を開けるのは、あなたです!

坂倉まきこ (フラメンコ・コーディネーター)

彼女の『Oro Viejo』(作品名:オロビエホ)は、現代フラメンコの最も素晴らしい表現のひとつに数えられる。この作品はその起源に完全に忠実であるフラメンコの発展形である。表現と確信、ロシオの才能に対する割れんばかりの賞賛、そして、この先も私たちにリードしてゆくに違いない冒険の刺激的な道標である。

——バレエマガジン/ロンドン・フラメンコフェスティバル(2009年)総括



～ロシオより日本の皆さんへ～

4月に東京で発表する作品は、私のこれまでの創作活動での作品からベストシーンをたっぷり盛り込んだ、日本の皆さんへのプレゼントとなるような公演にしたいと思っています。日本の観客の方々は、「どんなことをするのだろう?」という旺盛な好奇心を持ちながら、一方でとても礼儀正しく敬意をもって受け入れてくださる、という印象です。フラメンコファンの人だけでなく、初めて私を知るという人にも、これまでにないような感動を多くの人々と共有したいと思いますので、ぜひ期待してください。



ロシオ・モリーナ Rocío Molina

1984年、スペインのマラガに生まれる。3歳から踊りを始める。
17歳のとき(2001年)にマリア・パヘス舞踊団へ入団し、世界各地で活躍。
2002年、マドリッド王立舞踊高等学校を卒業。
2005年、ビトリア中央劇場(Teatro Principal de Vitoria)にて処女作『Entre Paredes(壁の間)』を発表。
翌年以降も次々と精力的に新作を発表し、ヨーロッパ・北米など各地で好評を博す。
2010年には、26歳という若さでスペインの芸術・ダンス・文化の中でもっとも栄誉ある「Premio Nacional de Danza 2010(スペイン舞踊家賞)」を受賞。これはスペイン舞踊界最高の栄誉ある賞であるため、受賞したロシオ本人も非常に驚いたという。
天才的な音感、驚異的な身体能力、そして天性の踊り手としての感性を備え、伝統的なフラメンコから現代作品まで、奇抜な振り付けと高度なテクニックを駆使したステージは、全世界で高い評価を得ている。
現代フラメンコ界における若手ナンバーワンの舞踊家である。

〈ロシオ・モリーナ舞踊団メンバー〉

ギター:ラファエル・ロドリゲス・“カベサ”: RAFAEL RODRÍGUEZ “Cabeza”
ギター:エドゥアルド・トラシエラ: EDUARDO TRASSIERRA
バイレ(踊り):エドゥアルド・ゲレーロ: EDUARDO GUERRERO
バイレ(踊り):ダビ・コリア: DAVID CORIA
バルマ(手拍子):エル・オルーコ: El Oruco
カンテ(歌):ロサリオ・ゲレーロ“ラ・トレメンディータ”: ROSARIO GUERRERO
“LA TREMENDITA”



フラメンコの粋を超え、全ての観客を惹きつけるステージ
 ——人生最高の感動をお届けします



2014年4月18日(金) 19時開演・19日(土) 15時開演
 Bunkamura オーチャードホール (東京・渋谷)

S席 ¥8,500 / A席 ¥6,500 / B席 ¥4,500 / C席 ¥3,000 (全席指定・税込) ※未就学児童入場不可
 主催: サンライズプロモーション東京 協力: Bunkamura
 後援: スペイン大使館、セルバンテス文化センター東京

チケット発売日: 2014年1月17日(金) 午前10時～

【チケット発売所】
 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
<http://www.sunrisetokyo.com>
 Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999
 Bunkamura チケットカウンター 10:00～19:00
 Bunkamura オンラインチケット <http://www.bunkamura.co.jp/online/>
 チケットぴあ <http://pia.jp/t/rociol/> 0570-02-9999 (Pコード: 432-737)
 チケットぴあ、セブン-イレブン、サークルK・サンクス 各店舗

日本公演公式ホームページ <http://rociol-molina-japan.com>



ローソンチケット <http://l-tike.com/rociol/>
 0570-000-777 (音声対応) 0570-084-003 (Lコード: 38230)
 0570-000-407 (演劇・クラシック用オペレーター)
 ローソン各店舗
 e+(イープラス) <http://eplus.jp/rociol/>
 ファミリーマート各店舗

お問合せ: サンライズプロモーション東京
 0570-00-3337 (10時～19時)

新着情報をご希望の方は、日本公演公式HPメルマガ会員登録へ!
www.rociol-molina-japan

